

TOKYO

TAKIKAWA

東京滝川会だより

第 **59** 号

平成26年3月発行

〈事務局〉

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部産業振興課

TEL 0125-28-8009 FAX 0125-23-5839

E-mail syoukou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL http://www.city.takikawa.hokkaido.jp



東京滝川会総会・設立20周年記念事業 開催！！



▲開催挨拶をする玉置会長

昨年十月二十五日、東京都内のピアステーション恵比寿ガーデンプレイス店で、平成二十五年度東京滝川会総会・設立二十周年記念事業を開催いたしました。

今回は設立二十周年という節目の年でもあり、会員、来賓も含め五十五名の方にご参加いただき、滝川市からも前田市長、水口市議会議員、田村市議会副議長、滝川商工会議所より、渡邊会頭、藤井副会頭にかけていただきました。総会では笹川理事の司会進行のもと、玉置会長の挨拶、平成二十四年度事業報告

抽選会（ビンゴゲーム）では今野理事の進行で場内を盛り上げていただき、一等の白鵬米&滝川産野菜セットを指して白熱した抽選会となりました。滝川市江部乙町の若手農業者で組織す



▲世界的チェリスト 津留崎さん

及び決算報告と平成二十五年度の事業計画及び予算が可決されました。

総会に引き続き懇親会では、東京滝川会の会員でもあり世界的チェリストの津留崎直紀さんによる記念演奏をおこないました。演奏曲目は「バッハ無伴奏フルートのためのパルティータイ短調」「カタロニア民謡『鳥の歌』」を演奏していただき、会場内はチェロの素晴らしい音色に包まれ、参加された皆さまも感動されていました。



▲新会員のご紹介

株式会社マツオ
まつじん赤坂店
店長 佐々木 啓人さん
(左)

滝川フレイク株式会社
代表取締役 猪狩 美樹さん
(右)

最後まで和やかな雰囲気の中で、サッポロビールを美味しく飲みながら、ふるさと滝川の思い出話や会員との交流を楽しんでいただきました。

設立二十周年を迎え、人に例えるなら、成人として大人の仲間入りをしたことになります。この会が三十年、四十年と続きますように、今後も、皆様に喜んでいただける楽しいイベントの実施や滝川の情報発信に努めて参りますので、ご支援・ご指導、宜しくお願い申し上げます。



▲司会を務める笹川理事

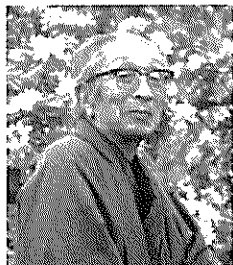


▲抽選会進行役の今野理事

る「大地の匠」から提供いただいた、滝川産のお米『ゆめびりか』も大人気でした。

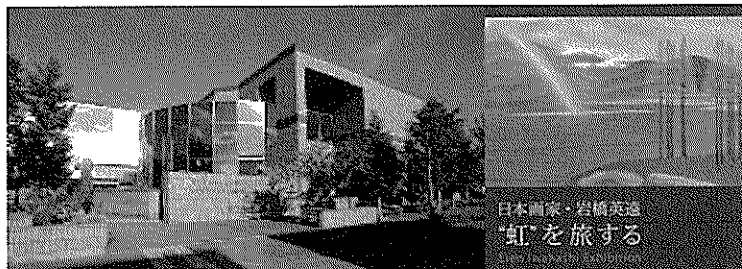
“虹”を旅する 生誕110年 岩橋英遠展 開催

自分を記憶してしてくれる人が
住んでいるところが故郷



■日本画家・岩橋英遠
明治36年滝川村に江戸乙屯田兵の長男として生まれる。大正13年画家を目指して上京、山内多門、安田靉彦に師事。日本美術院を中心に活躍。昭和43年東京芸術大学教授就任。昭和54年滝川市名誉市民となる。平成6年文化勲章受章、平成11年神奈川県相模原市で逝去（96歳）。

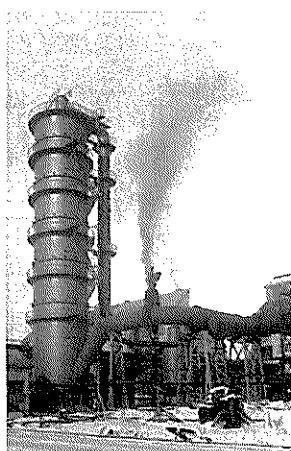
平成25年9月7日—平成25年10月20日
滝川市美術自然史館にて開催されました



江戸乙出身の日本画家・岩橋英遠の生誕110年の節目にふさわしく、過去最大規模の展覧会が滝川市美術自然史館で開催されました。今回は代表作の「道産子追憶之巻」（道立近代美術館蔵）や、これまで公開されることがなかったスケッチ帳や素描が初めて展示されました。作品の設計図ともいえる写生を通して、創作過程などをうかがうことができ、画家・岩橋英遠を深く理解する上で、意義深い展覧会となりました。

岩橋英遠は、生涯にわたって自分の“虹”を求めた画家。「虹は一人一人のもので、人は自分の虹しか見る事が出来ない」という言葉を残しています。本展では、140冊に及ぶスケッチブックや数々の素描の中で、英遠の心の中に、いつもふるさと江戸乙が離れなかったことを改めて知ることができました。

北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料が 化学遺産として認定されました



▲昭和18年撮影「脱硫工場」



▲滝川工場で作られた
現存す唯一の人造石油
（郷土蔵蔵）

北海道人造石油株式会社滝川工場は、昭和13年に国策として「石炭から石油を作る」ために、117ヘクタールの用地に現在の価格で約8000億円の巨費を投じて建設された化学工場で、終戦後、滝川化学工業株式会社として再出発しましたが大きすぎる生産施設が災いし、昭和27年に倒産しました。

国内の人造石油製造工場に関する資料は、第二次世界大戦時に空襲で焼失したり、戦後焼却処分されるなどで、ほとんど残されていませんが、北海道人造石油株式会社滝川工場の資料は、空襲を免れたこと、工場が滝川化学工業株式会社として戦後しばらく存続したこと、工場に勤務されていた方が所有していた資料を滝川市に寄贈いただいたことにより、多くの資料が残されています。

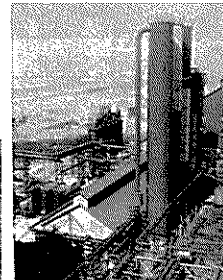
北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料は、平成25年3月に公益社団法人日本化学会より化学遺産に認定され、滝川の歴史及び日本の化学技術と化学産業の歴史の一側面を示す貴重な歴史的資料となっています。また、平成25年12月1日には8番目の滝川市指定文化財となりました。



▲ディーゼル工場



▲工員社宅「滝泉寮」（現：泉町1～2丁目）



▲ベンゾール工場

第十九回北海道産直フェア

最終日は東京滝川会ブースに長蛇の列！

昨年十月四日～十月六日の三日間開催された、北海道ふるさと会連合会主催「北海道産直フェア」に今回も東京滝川会として、滝川市の物産PRをおこないました。

初日と二日目は生憎の雨模様で、来場者数も前年より少ない状況でし



▲お手伝いいただいた（左から）栗原理事、大地の匠 榎本さん、宮本理事、瀬戸川理事

たが、最終日の日曜日は見事な秋晴れとなり、一日の集客としては最も多い十八万九千人の来場がありました。三日間の来場者数は三十六万四千人で、訪れた方たちは、北海道の海産物や畜産品、新鮮な野菜など一



年に一回のイベントを満喫されていまして、特産品販売において、程よい酸味と香りが良いりんごの「旭」が人気で、採れたてのたまねぎや若手農業者「大地の匠」が作った新米ゆめぴりも大好評でした。初登場となる、「滝川産SPFポークステーキ」も行列ができるほどの人気でした。

今回も多くの方にご協力いただき、滝川の美味しい特産品の販売と特産PRを実施することが出来

ました。

開催中、滝川にゆかりがある方や、東京の学校に通っているという滝川出身の学生さんなど、様々な出会いもありました。理事の方とも懐かしい滝川ふるさと話で盛り上がる場面もありました。

今年の秋の開催については、十月三日（金）～五日（日）となっております。滝川市の物産のほか、北海道の美味しい食べ物を味わえる年に一度の物産展です、ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。



▲最終日は、高橋北海道知事も見えられました（玉置会長と撮影）。

人気の滝川産SPFポークソーセージ新発売

滝川の特産品として、イベントで販売を行ってきた「滝川産SPFポークソーセージ」が、ご家庭でも食べられるようにと、滝川市内の温泉施設「滝川ふれ愛の里（㈱滝川グリーンズ運営）」が冷凍商品として、新発売い

ました。

札幌

市内の

イベント

ト出展

で一日

四〇〇

本以上

販売されたことがある人気のソーセージです。購入ご希望の方は滝川ふれ愛の里までご連絡ください。

【問合せ先】滝川ふれ愛の里

TEL 0125・26・2000

なお、インターネット通販サイトアマゾンでもご注文いただけます。

※アマゾン通販サイトの検索欄で「滝川ふれ愛の里」と入力してください。



「滝川市応援大使」北海道日本ハムファイターズ

乾 真大 投手 斎藤 佑樹 投手 が滝川を訪れました。

北海道日本ハムファイターズは平成25年に本拠地移転10年目を迎えるにあたり、「北海道179市町村応援大使企画」を実施しました。滝川市はその第1回目に選ばれ、応援大使として1年間『乾 真大投手』『斎藤 佑樹投手』が就任いたしました。昨シーズンは両選手ともに故障で苦しみ、昨夏、滝川市で行われたイースタンリーグの試合でも姿を見ることはできませんでしたが、シーズンオフとなった平成25年11月27日、乾真大投手と斎藤佑樹投手が二人そろって、初めて滝川を訪れました。



▲市長を表敬訪問

滝川第二小学校では子供達の質問コーナーや野球部生徒とのキャッチボールで交流し、市役所への表敬訪問の後、難病児自然体験施設そらぶちキッズキャンプを訪れ、共に成長し大きく育って立派な実を付けてほしいと願いを込めて「オニグルミの木」を植樹しました。夜には市民を対象にしたトークショーが市内のホテルで開かれ、乾選手は「来季は新たなスタートとして、チームの優勝の力になりたい」と述べ、斎藤選手は「今年1試合しか投げていないのに、いろいろな方が歓迎してくれた、プロ野球選手として、その役割を果たしたい」と力強くコメントされました。短い時間ではありましたが、市民の方と交流ができ、楽しいひと時を過ごすことができました。



▲第二小学校で児童と交流



▲そらぶちキッズキャンプで植樹



▲トークショーにて

**これからも日本ハムファイターズと
乾・斎藤投手の応援を宜しくお願いします！！**

新規会員募集

東京滝川会では新規会員を募集しています。
首都圏在住で滝川市に関わりのある方が
いらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

【事務局】

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部産業振興課

Tel: 0125-28-8009

Fax: 0125-23-5839

E-mail: syoukou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL: <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>

今年で十二回目を迎えるこのイベントは、毎年一日限り、日没からの三時間しか実施しません。「燃え尽きたら終わり、そのほかなさがない」「家族や友達が作ったランターンを一緒に探すのがいい」という方など、それぞれの思いが詰まったランターンで市内は幻想的な光に包まれました。



滝川紙袋ランターンフェスティバル開催
手作り灯籠一万四千個
市民が身近な紙袋で手作りした灯籠の雪あかりで街を彩る「たきかわ紙袋ランターンフェスティバル」が二月二十二日開催されました。